



地域(亀山市)と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員 長田たかひさ

県政レポート

2019年1月
No.40



事務所
〒519-0124 亀山市東御幸町233-2
TEL 0595-82-8700 FAX 0595-82-8775
ホームページ <http://www.enjoy-nagata.jp/>

所属委員会等
●医療保健子ども福祉病院常任委員会 委員
(医療保健部、子ども・福祉部、病院事業庁の所管及びこれに関連すること)
●予算決算常任委員会 理事
●議会運営委員会 委員
●議会改革推進会議 委員

◇皆様のご意見をお聞かせ下さい◇

▶ 予算決算常任委員会総括的質疑(2018年12月7日)より

■ 三重県指定管理鳥獣捕獲等事業について

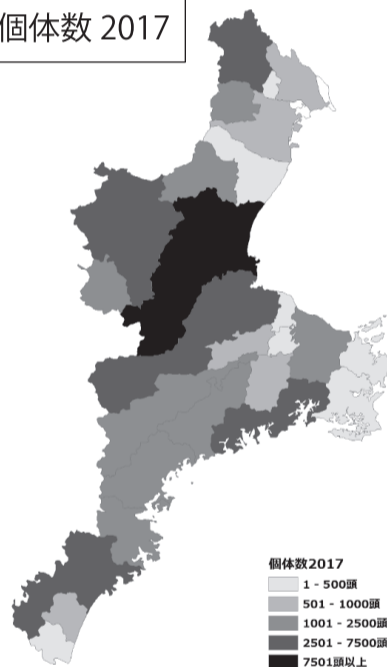
Q.2014年5月の鳥獣法の改正により、生息数が著しく増加した野生鳥獣について、その生息数を適正な水準に減少させることなどを目的として、国と県による捕獲等が実施できることになったことから創設されたもので、三重県指定管理鳥獣捕獲事業の今後の方向性はどうか

A.2015年度から、ニホンジカとの衝突事故が発生し生活環境への被害が発生している鉄道周辺、複数市町にまたがる捕獲が進みにくい地域、生息密度の高い地域において県が独自にニホンジカを捕獲している。今後とも、そのような地域で捕獲を進めていく。

※これまでの実績

- 2015年度 尾鷲市・紀北町のJR紀勢本線の沿線で、「わな」により106頭を捕獲
- 2016年度 大紀町のJR紀勢本線の沿線で「わな」「銃」により270頭を捕獲
- 2017年度 亀山市・伊賀市のJR関西本線の沿線、津市のJR名松線、近鉄大阪線の沿線を中心に、「わな」により、亀山市で163頭、伊賀市で297頭、津市で460頭の合計920頭を捕獲
- 2018年度 大紀町のJR紀勢本線の沿線及び、大紀町・度会町の2町にまたがる地域と、生息密度の高い「いなべ市」で「わな」により、それぞれ310頭を捕獲予定

個体数 2017



生息密度 2017

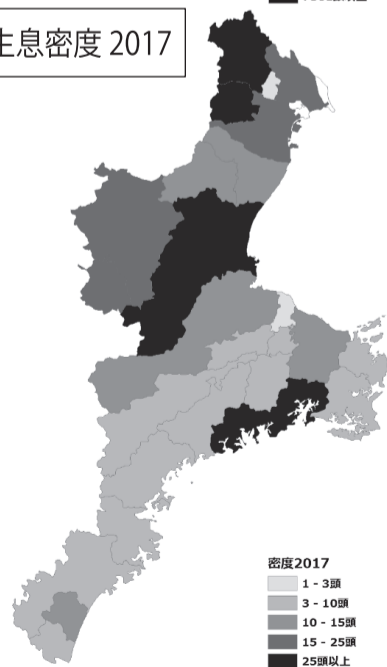


表 市町別の個体数と生息密度推定結果(2017年度)

管理区分	市町	個体数		生息密度(頭/km ²)	
		中央値	(90%信用区間)	中央値	(90%信用区間)
四・伊賀	桑名市	532	(311-1,027)	17.6	(10.3~34)
	いなべ市	4336	(1,761-10,710)	33.8	(13.7~83.6)
	木曾岬町	0	(0-0)	0	(0~0)
	東員町	4	(3-8)	2.4	(1.5~4.4)
	四日市市	606	(183-1,720)	21.1	(6.4~60)
	鈴鹿市	474	(241-1,011)	13.2	(6.7~28.2)
	亀山市	1322	(445-3,605)	11	(3.7~30)
	菰野町	1658	(865-3,463)	31	(16.2~64.8)
	朝日町	0	(0-0)	0	(0~0)
	川越町	0	(0-0)	0	(0~0)
津・松阪	伊賀市	5112	(2,458-10,415)	15	(7.2~30.6)
	名張市	1356	(785-2,615)	19.7	(11.4~38)
	津市	11889	(7,093-22,609)	28.6	(17.1~54.4)
	松阪市	5348	(3,169-10,190)	12.5	(7.4~23.8)
	多気町	554	(124-1,688)	9.4	(2.1~28.5)
伊勢志摩	明和町	3	(2-6)	1	(0.6~1.9)
	大台町	1815	(999-3,538)	5.4	(3~10.5)
	伊勢市	1349	(792-2,581)	12.3	(7.2~23.6)
	鳥羽市	384	(114-1,096)	5.1	(1.5~14.7)
	志摩市	484	(167-1,303)	5.3	(1.8~14.3)
	玉城町	59	(34-114)	4.7	(2.7~9.1)
尾鷲・熊野	度会町	943	(482-1,882)	8.3	(4.2~16.5)
	大紀町	1332	(789-2,530)	6.3	(3.7~12)
	南伊勢町	5387	(2,358-11,276)	26.1	(11.4~54.6)
	尾鷲市	1089	(626-2,113)	6.2	(3.5~11.9)
	紀北町	1735	(1,037-3,301)	7.6	(4.5~14.4)
	熊野市	2719	(1,646-5,082)	8.3	(5~15.4)
	御浜町	732	(427-1,411)	12.8	(7.5~24.8)
紀宝町	344	(191-682)	5.7	(3.2~11.2)	

図 市町毎の個体数と生息密度推定結果(2017年度)

Q.2019年度から「みえ森と緑の県民税」でも、「土砂や流木による被害を出さない森林づくり」の中の想定事業例として「森林機能を維持するための獣害対策」が示されているが、三重県指定管理鳥獣捕獲事業との違いは何か
A.「みえ森と緑の県民税」による事業は、植栽地等を守ることで森林の有する公益的機能の維持増進を目的としている

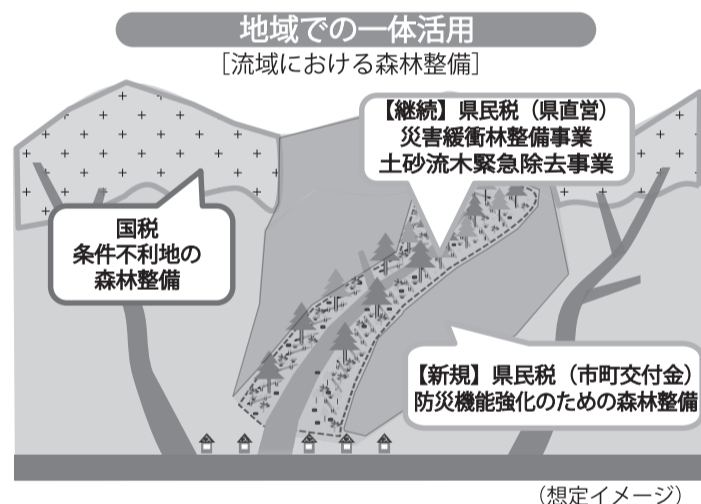
Information 「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税(仮称)」

1. 「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税(仮称)」との対比

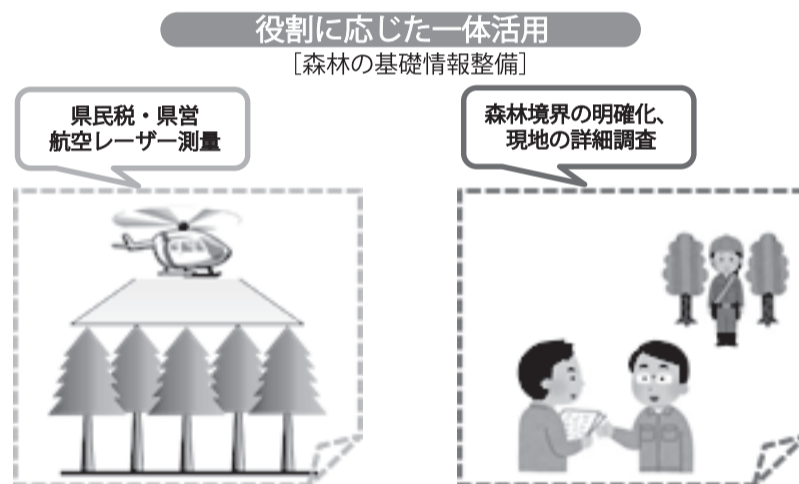
	みえ森と緑の県民税	森林環境譲与税(仮称)
森林の整備	災害に強い森林づくり 土石流等の被害を軽減する森林の整備 治山ダム等に異常に堆積した土砂や流木の撤去 流域の防災機能強化を図る森林の整備 通学路沿いなどの危険木の除去	公的な管理をはじめとする森林整備 市町が行う森林の公的な管理や整備(間伐、作業道の開設) 森林所有者の意向調査、森林の現況調査 森林境界の明確化 市町の体制整備(嘱託職員・技術者等の雇用)
人材の育成	森を育む人づくり(ボランティア・住民) 森づくり活動ボランティア等の育成 学校や地域における森づくり活動などの実施	林業従事者の育成(林業・木材産業従事者) みえ森林・林業アカデミーの設置・運営
意識の醸成	学ぶ機会(場)や環境づくり 小学校等における森林環境教育・木育の実施 幼稚園や保育所における森林環境教育・木育施設の整備 県民が自然(緑)に触れられる環境の整備	—
木材の利用	—	県産材利用の促進 県産材を活用した公共建築物や民間施設の木造化 ・内装の木質化・木製備品の配備
財源	税額・税率(年額): 個人1,000円、法人2,000~80,000円(県民税均等割額の10%相当額) 課税方式:県民税均等割の超過課税	2019年度から、特別会計より借り入れて、県、市町へ譲与 2024年度から、国内に住所を有する個人から、年額1,000円を森林環境税(仮称)として徴収し、県、市町へ譲与予定
税収規模	年間 個人より9億円、法人より1億8000万円の予定	2019年度の200億円から段階的に増加し、2033年度は600億円(最大)、三重県の市町へは、2019年度に3.8億円、2033年度に12.9億円の配分

2. 「みえ森と緑の県民税」と「森林環境譲与税(仮称)」の一体として活用

県民税と国税を一体として活用し、森林対策をより一層進めます。



県営の災害緩衝林整備事業(県民税活用)等や防災機能強化のための森林整備(県民税活用)区域の周辺において、市町が条件不利地の森林整備(国税活用)を実施。



森林の基盤情報整備において、航空レーザー測量などの面的な情報収集は県が県民税を活用。森林境界明確化など現地詳細調査は市町が国税等を活用。

過去5年の亀山市内の県営の災害緩衝林整備事業や土砂流木緊急除去事業の実績

●災害緩衝林整備事業

年度・箇所	事業量(ha)
2014年度 加太神武字深切	A(※1)= 2.51
2015年度 関町沓掛字口洗場	A(※1)= 4.96
2015年度 白木町北河内	A(※1)= 1.76
2016年度 関町沓掛字東焼地蔵	A(※1)= 2.44
2016年度 加太市場字一ノ木戸	A(※1)= 5.42

●土砂流木緊急除去事業

年度・箇所	事業量(ha)
2017年度 関町一之瀬字上野	A(※1)= 1.6
2017年度 関町坂下字大瀧	A(※1)= 3.65
2017年度 加太神武字奥平	A(※1)= 5.72
2018年度 加太梶ヶ坂	A(※1)= 1.95
合計	30.01

年度・箇所	事業量(m³)
2015年度 関町市瀬字転石	V(※2)= 100
2017年度 加太板屋字千代ヶ萩	V(※2)= 101 V(※3)= 19

※1 調整伐 ※2 土砂除去工 ※3 流木除去工

3. 「みえ森と緑の県民税」市町交付金の使途拡大(2019年度より)

森林を取り巻く様々な課題にこれまで以上に対応するため、県民税の使途を拡大します。

「災害に強い森林づくり」の取組を強化・拡充するため、新たな対策として、「流域全体の防災機能強化を目的とした森林整備」や、「森林の有する機能の維持を目的とした獣害対策」などを進めます。

◇県政報告会を行っています

675回	11月10日	萩原公民館	678回	11月18日	市場公民館	681回	11月29日	亀山市林業総合センター	684回	12月16日	古厩集会所
676回	11月11日	富士ハイツ公民館	679回	11月25日	ひとみヶ丘集会所	682回	12月2日	梶ヶ坂公民館	685回	12月22日	野村地区コミュニティセンター
677回	11月17日	小野地区集落センター	680回	11月28日	城東地区コミュニティセンター	683回	12月9日	城西地区コミュニティセンター			